

生月まち協 だより

第50号

令和3年6月15日発行



生月地区まちづくり
運営協議会

TEL/FAX 0950-29-9080



生月小学校 運動会より (記事参照)

まち協活動報告

役員会・運営委員会

5月8日（土）役員会・6月5（土）に運営委員会を行いました。会議内容は令和3年度総会提出の議案について議論し了承されました。



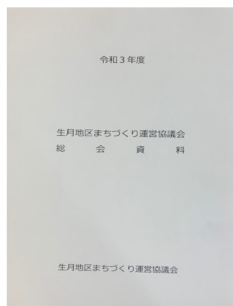
アンケート

お忙しい中アンケートにご協力頂きありがとうございました。おかげ様で貴重なご意見を多数頂くことができました。皆様からいただきましたご意見・ご要望を今後の事業に活かしていきたいと考えています。集計作業には時間を要しますのでまとまり次第ご報告致します。ご協力ありがとうございました。



総会

令和3年度生月地区まちづくり運営協議会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面決議で行うこととなりました。書面決議の結果は来月号の会報でお知らせ致します。



健康福祉部会の健康づくり情報

お知らせ

今回は集団健(検)診・個別健(検)診等の開始時期の変更及び中止についてお知らせ致します。

【集団健(検)診】

下記の日程は**中止**となっております。

実施月日	地区	実施場所
6月7日（月）	元触・里・堺目・上堺目	生月病院
6月11日（金）	正和・日草・御崎・山田	
6月21日（月）	森・竹崎・大久保	
6月28日（月）	舘浦第1・2・3・4・5	
7月2日（金）	白山・浦中・恵比須	
7月9日（金）	正前・里浜・宮田	

【個別健(検)診】

例年8月より実施しておりました下記の健(検)診につきましては**開始時期を見送り**ます。実施時期につきましては後日改めてお知らせします。

- ・総合健(検)診【個別健診】
※がん検診を含む
- ・国保人間ドック・脳ドック（国保加入者のみ）
※予約受付についても開始時期を見送ります。
後日改めてお知らせします。

今後の集団健(検)診の実施については現在のところ未定です。他の日程での健(検)診に参加を希望される方は、健康ほけん課（☎22-9125）へご予約ください。

他の日程については『令和3年度平戸市健(検)診日程表』をご覧ください。

おゆずり会開催



昨年度に地域づくり部会にて計画された『おさがり広場』事業。呼びかけを行ったところ、チャイルドシートやベビーカー、子供服などたくさんのおさがりのご提供をいただきました。そこでこの度、品物を必要な方へ渡す『おゆずり会』を行いました。コロナ禍中ということで、当日は検温・手指消毒、確認書への記入、会場内が密にならないよう入場制限を行うなど対策を行いながらの開催となりましたが、多くの方にご来場いただくことが出来ました。

訪れた方からは「こんなにたくさんのおさがり品があり驚いた。自分もまだ使えそうな物は捨てる前におゆずりを考えたい。」との声をいただきました。おさがり品はまち協事務所『海風』にて随時募集しております。



寄贈ありがとうございました😊

浦北地区の小田文子様より、手作りのかわいいパッチワーク作品をまち協事務所へ寄贈いただきました。細かいところまで作りこんであり、見れば見るほどすばらしいです！事務所『海風』の玄関に飾っております。来所の際はぜひご覧になってください。小田様、ありがとうございました。



地域のできごと

5月に各小中学校にて運動会が行われました。
いずれもコロナ禍にて午前中のみ開催となりましたが大いに盛り上がりました。

生月中学校



5月9日(日)五月晴れの中、生中体育大会が開催されました。生徒数の減少に伴い、今年度は学年対抗にて行われました。重い俵を持ち上げ、誰が一番長く持っているか競うなどの学年種目や全校リレー、全校ダンスなど思考を凝らした競技に会場は大盛り上がりでした。

生月小学校



5月16日(日)生小運動会が開催されました。この日は生憎の天気で中断や打ち切りも心配されましたが、生小児童の持ち前の元気さと先生方の臨機応変な対応で無事全競技が行われました。中でも5,6年生の親子競技は親と子が協力して指令をこなす姿がとても感動的でした。

コラム

燕の子 大志を抱いて 大空へ(拙娘)

季語としては春なのだが、小生の感覚では今時分の気がします。巣立ちのころになると飛び立つ準備をしている光景に出くわします。上手な子は二三回羽ばたいたかと思っただけで巣を抜け出し滑空していきます。中には小生みたいに臆病な子もいて、バタバタと羽を動かしてはみるものの今一つ勇気が出ないのか巣を後にしない子もいます。それも一時のこと、すべての子燕が巣立ちして大空をすいすいと泳ぎ回ります。

今年は平年よりかなり早く梅雨入りしました。小生らの子供時分だと梅雨はしょぼしょぼと雨が降り続きじとじていて嫌な季節というのが記憶にあるのです。

しかし昨今は、豪雨に見舞われ災害が起こる季節といった認識に変化してきました。

自分たちの仕業ではないのですが、気候変動のせいだとは言いつつも生きている間にこんなにも極端に変化するものかと愕然としています。

昨年の梅雨時期に生月大橋先の山が崩れ、その後雨が強く降るたびに崩落に気をもんできました。今年の梅雨がどのような雨をもたらすのか視界不良ではありますが、豪雨のたびに生月大橋の通行止めを心配する日が続くそうで忸怩たる思いがしています。

梅雨明けはまだまだ先のことですが、希望をもって大空に飛び立った燕の子のように明るい未来を信じていかなければならないと思う今日この頃です。

(学)

